



2018年度 第1四半期 決算説明資料

Sapporo Group Business Results Presentation
for the Three Months Ended March 31, 2018

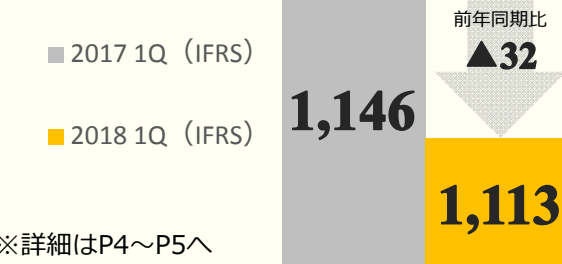
2018年5月10日

URL <http://www.sapporoholdings.jp>



主要ビールブランドやベトナムの構造改革は順調だが、
国内外の飲料事業が低調に推移
北米飲料は上期中を目途に立て直しを図り、下期で効果を創出する

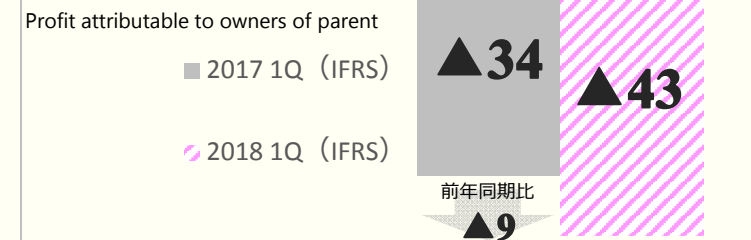
売上収益
Revenue



営業利益
Operating Profit



親会社の所有者に帰属する
当期純利益
Profit attributable to owners of parent



➤ 食品・飲料事業の不調（▲25億円）と立て直し中の北米飲料での減収が響き、前年同期比で▲32億円の減収

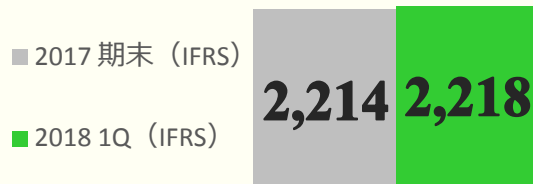
➤ 3月の「麦とホップ」リニューアルに伴う在庫整理の影響や、北米飲料、国内飲料の業績が低調に推移したことにより、前年同期比で▲19億円の減益

➤ 営業利益の減少に伴い、▲9億円の減益



金融負債残高

Balance of Net debt



D/Eレシオ

D/E ratio 1.4倍

資本

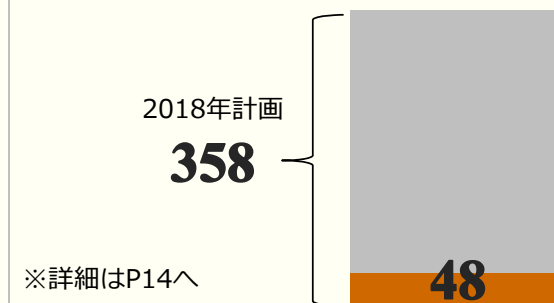
Equity



※BSの詳細は
P15~P19へ

投資額 (支払ベース)

Cash basis investment



※詳細はP14へ

グループ経営基盤

Group Management Platform



その他グループトピックス

Others

- 日本農芸化学会から「2018 年度農芸化学技術賞」を受賞
- ICTを活用したレモンの栽培試験を広島県大崎上島町で開始
- 「健康経営優良法人2018~ホワイト500~」に認定
- 厚労省のテレワーク宣言企業に選定

- IFRSの任意適用開始
- 第27回地球環境大賞「農林水産大臣賞」を受賞
※詳細はAppendix P39へ

※詳細はP20へ

セグメント別 売上収益 Revenue by Segment

2018
Q1



| | ① : 2017 Q1 (日本基準) | ② : 2017 Q1 (IFRS) | 増減 <会計基準差異> (②-①) | ③ : 2018 Q1 (IFRS) | 前年同期比 (③-②) | // (率) (③-②) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------------------|-----------------------|----------------|-----------------|
| 連結売上収益 | 1,178 | 1,146 | ▲32 | 1,113 | ▲32 | ▲2.8% |
| 国内酒類事業 (※) | 550 | 508 | ▲42 <small>(リポート売上控除▲43)</small> | 508 | ▲0 | ▲0.0% |
| 国際事業 (※) | 161 | 184 | 24 <small>(酒税総額表示+24)</small> | 178 | ▲6 | ▲3.3% |
| 食品・飲料事業 | 316 | 304 | ▲12 <small>(リポート売上控除▲12)</small> | 278 | ▲25 | ▲8.4% |
| 外食事業 | 65 | 63 | ▲1 | 61 | ▲2 | ▲3.7% |
| 不動産事業 | 59 | 59 | ▲0 | 60 | 2 | 2.7% |
| その他 | 28 | 28 | 0 | 28 | 0 | 0.8% |

※ : 2018年から「サッポロインターナショナル(株)」の輸出事業を「サッポロビール(株)」に移管。
これに伴い、2017年度は遡及適用後の金額となっている。(売上収益5億円、営業利益1億円)

次ページで要因解説

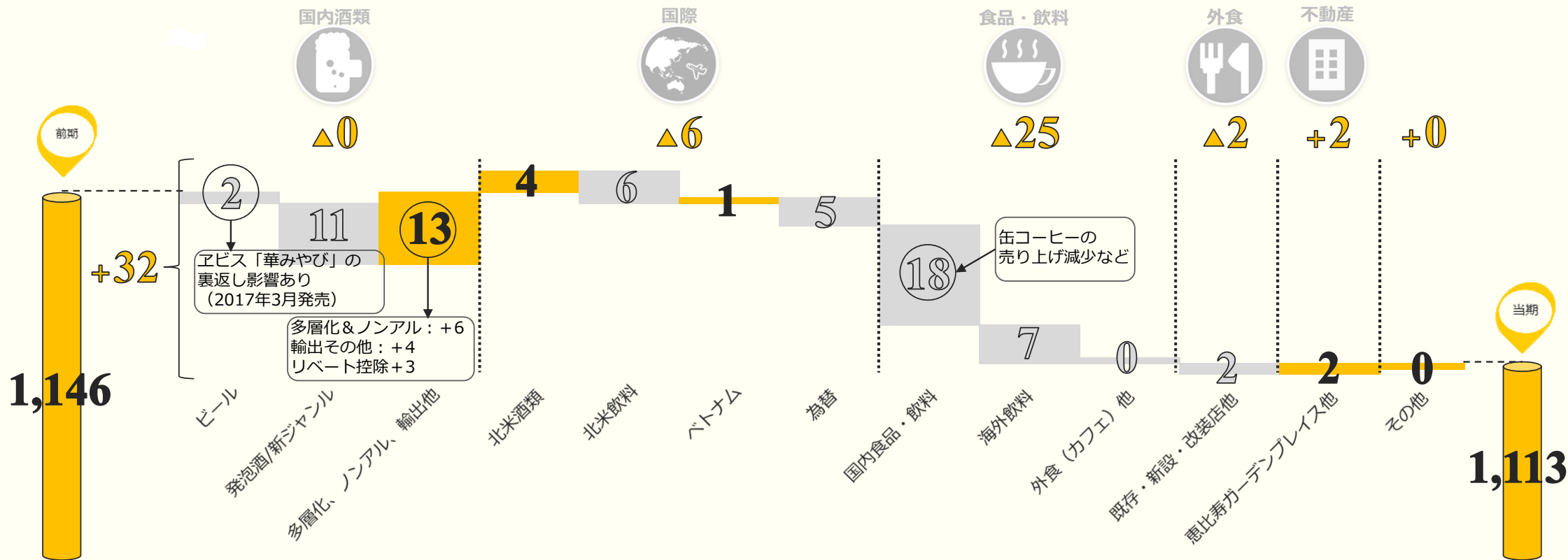
売上収益 増減の主な要因 Main Factors Contributing to Changes in Revenue

2018
Q1



：新ジャンルや、国内外の飲料事業が減収の主な要因

■ = 増加
■ = 減少



※：2018年から「サッポロインターナショナル(株)」の輸出事業を「サッポロビール(株)」に移管

セグメント別 IFRS 営業利益 Operating Profit by Segment

2018
Q1



| | ① : 2017 Q1 (日本基準) | ② : 2017 Q1 (IFRS) | 増減 <会計基準差異> (②-①) | ③ : 2018 Q1 (IFRS) | 前年同期比 (③-②) |
|------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------------------|-----------------------|----------------|
| 連結営業利益 | ▲15 | ▲37 | ▲22 <small>(固定資産税▲20他)</small> | ▲55 | ▲19 |
| 国内酒類事業 (※) | ▲18 | ▲23 | ▲4 | ▲31 | ▲8 |
| 国際事業 (※) | ▲4 | ▲0 | 4 | ▲4 | ▲4 |
| 食品・飲料事業 | ▲6 | ▲3 | 3 | ▲10 | ▲7 |
| 外食事業 | ▲3 | ▲5 | ▲3 | ▲5 | ▲0 |
| 不動産事業 | 29 | 10 | ▲20 <small>(固定資産税▲16他)</small> | 11 | 1 |
| その他 | ▲1 | ▲1 | ▲0 | ▲1 | 0 |
| 全社 | ▲11 | ▲13 | ▲2 | ▲15 | ▲1 |

※ : 2018年から「サッポロインターナショナル(株)」の輸出事業を「サッポロビール(株)」に移管。
これに伴い、2017年度は遡及適用後の金額となっている。(売上収益5億円、営業利益1億円)

次ページで要因解説

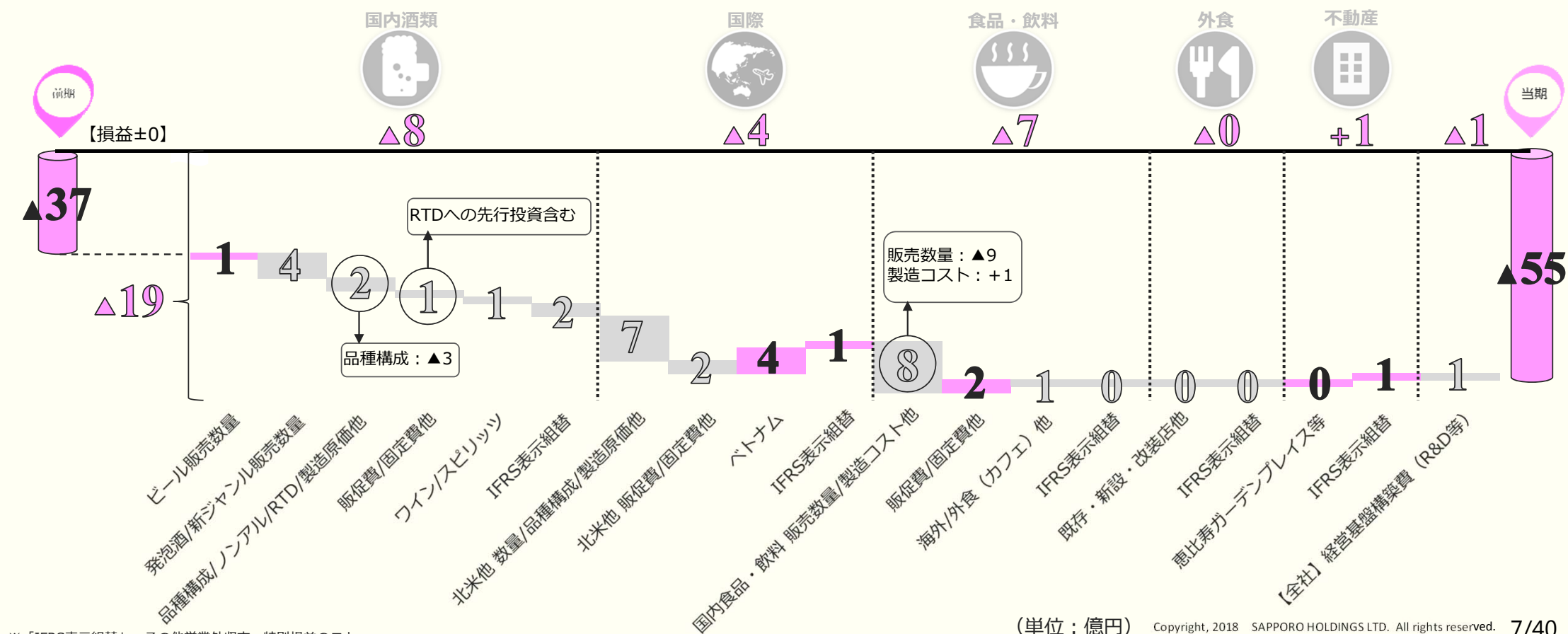
IFRS営業利益 増減の主な要因 Main Factors Contributing to Changes in Operating Profit

2018
Q1



：RTDへの先行投資や、飲料事業（国内外）の売上減少により減益
ベトナムの構造改革は順調に進む

■ = 増加
 ■ = 減少



※「IFRS表示組替」：その他営業外収支・特別損益のこと。



国内酒類事業

Japanese Alcoholic Beverages

売上収益 Revenue **508** 前年同期比 YoY Change **▲0**

IFRS 営業利益 Operating profit **▲31** 前年同期比 YoY Change **▲8**

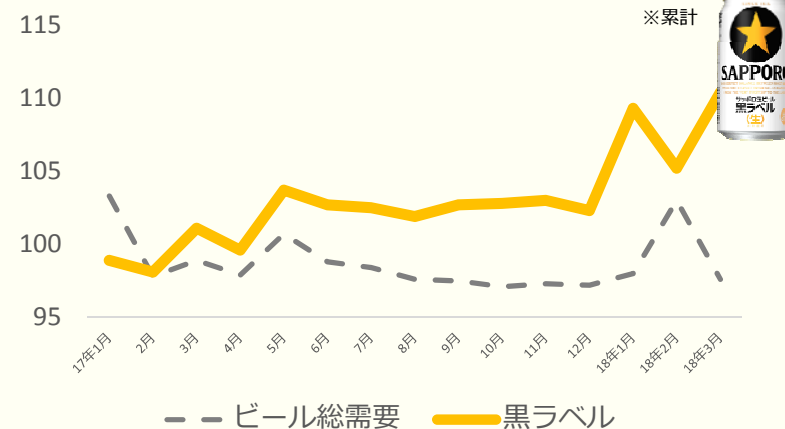
2018 Q1

※前年同期比はIFRSベースの比較

Positive

- 「続・ビール強化」の効果は顕著
→黒ラベルブランドの売上数量は前年同期比**110%**
- RTDは好調に推移し、前年同期比**126%**
※金額ベース
- 日本ワイン「グランポレール」の拡大・強化に向けて、北海道北斗市に新ヴィンヤード開園予定（6月）
※詳細はAppendix P29へ

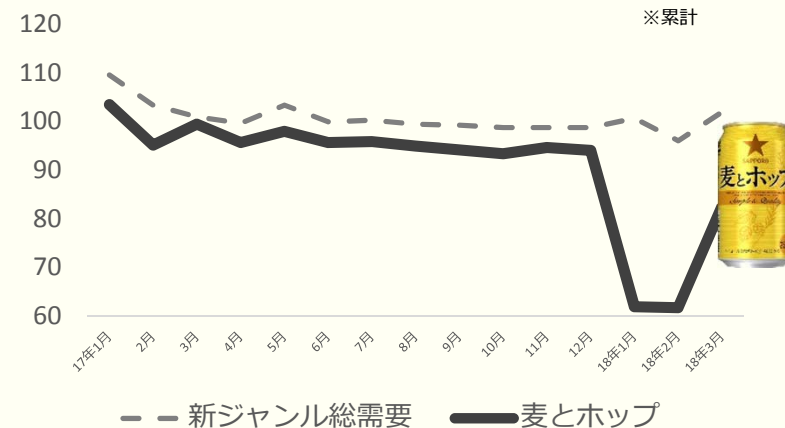
<黒ラベルブランド 売上数量 前期比 推移>



Negative

- 新ジャンルの売上数量は前年同期比**93%**
→3月6日に「麦とホップ」リニューアルを実施
リニューアル前の商品在庫削減の動きが影響も、
3月単月の売上数量は前年同期比**114%**で着地

<麦とホップブランド 売上数量 前期比 推移>





国際事業 International

売上収益 Revenue **178** 前年同期比 YoY Change ▲6

IFRS 営業利益 Operating profit ▲4 前年同期比 YoY Change ▲4

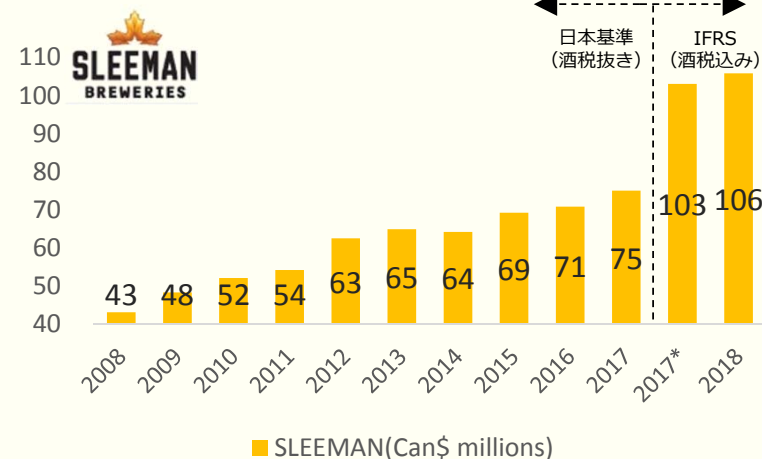
※前年同期比はIFRSベースの比較

2018 Q1

Positive

- スリーマン社はブランド強化が進み、連続増収を継続
- ベトナムは売上数量前年同期比**111%**
構造改革を進め、**4億円**の収益改善

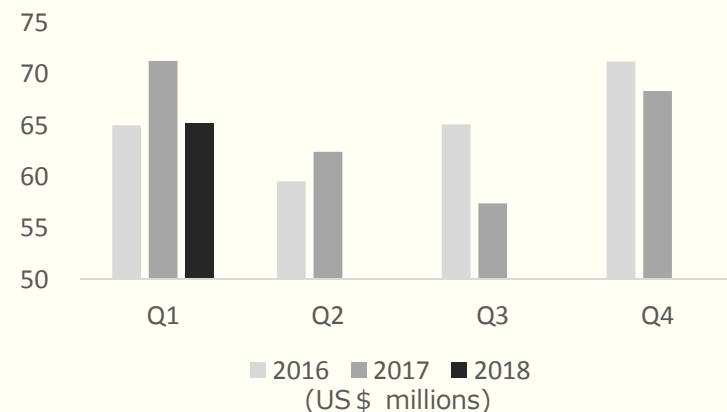
＜スリーマン社：現地通貨建て売上高（連結消去前）の推移＞



Negative

- 北米飲料の業績低迷
→北米飲料2社は4月で経営統合完了
CPF社主導により、SSC社の経営改善を進めており、
Private Labelの売上数量は回復傾向も、
Co-Packビジネスで苦戦を強いられている

＜北米飲料：現地通貨建て売上高の推移＞





食品・飲料事業
Food & Soft Drinks


売上収益 Revenue **278** 前年同期比 YoY Change **▲25**

IFRS 営業利益 Operating profit **▲10** 前年同期比 YoY Change **▲7**

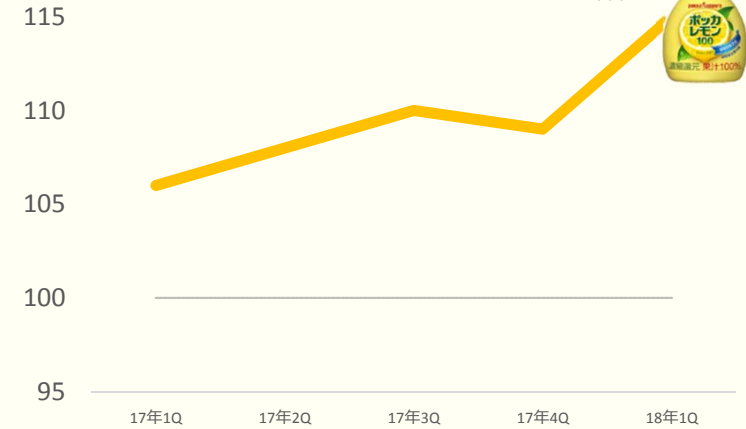
※前年同期比はIFRSベースの比較

2018 Q1

Positive

- レモン食品や茶系飲料は昨年に続き売上好調
→レモン食品の売上数量は前年同期比**115%**
- アーモンドブリーズの製造・販売開始 
- シンガポール国内の売上が回復基調

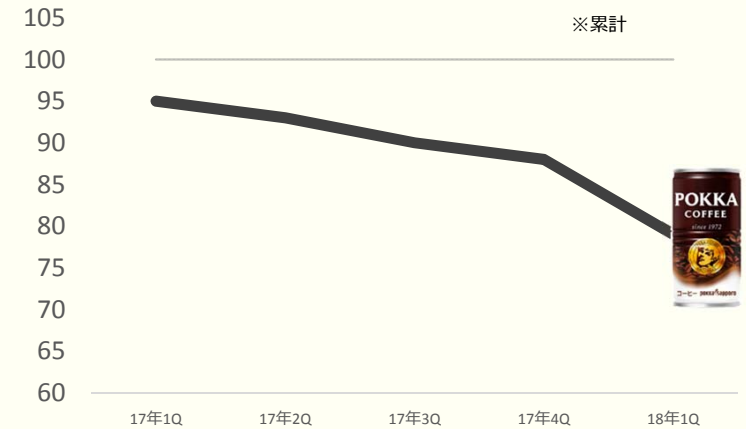
＜レモン食品 売上数量 前期比 推移＞
※累計



Negative

- コーヒー飲料が低調
→茶系飲料など好調な商品でリカバリーを図る
- シンガポールからの輸出売上が減少
→柔軟な商品開発体制の構築を急ぐ

＜コーヒー飲料 売上数量 前期比 推移＞
※累計





外食事業
Restaurants

売上収益 Revenue 61 前年同期比 YoY Change ▲2

IFRS 営業利益 Operating profit ▲5 前年同期比 YoY Change ▲0

※前年同期比はIFRSベースの比較

2018
Q1

Positive

- 「YEBISU BAR 博多1番街店」オープン (3/26) (九州初出店)
→新店がいずれも好調に推移
- 材料高騰や人財獲得難は継続も、コストコントロールにより第1Q時点では影響軽微



Negative

- 既存店売上は前年同期比98%
→4月にオープンした和食新業態「そばえもん」など新店や新業態でカバーしていく



店頭イメージ (昼)



店頭イメージ (夜)



不動産事業

Real Estate

売上収益 Revenue **60** 前年同期比 YoY Change **2**

IFRS 営業利益 Operating profit **11** 前年同期比 YoY Change **1**

※前年同期比はIFRSベースの比較

2018 Q1

Positive

- 主力物件は全て安定した稼働率を維持

YEBISU GARDEN PLACE



※入居ベース、小数点第一位を四捨五入

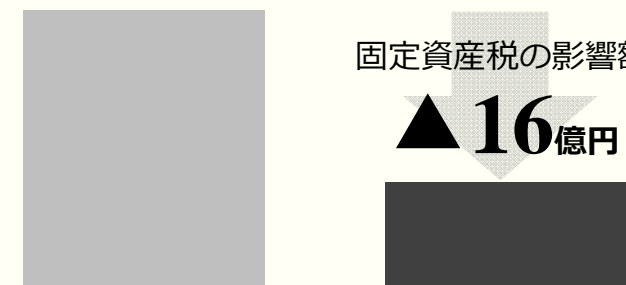
GINZA PLACE



Negative

- 事業内容については特筆すべき点なし
- IFRS導入により、固定資産税を1月に全額計上
→年間の損益に影響はないが、日本基準での営業利益に比べ、第1Qの利益額が減少

<不動産事業 営業利益>



2017 1Q (日本基準)

2018 1Q (IFRS)



➤ 為替による営業利益への影響は軽微

<決算特殊要因（前年同期比）>

| 事業セグメント | 内容 | 売上収益影響 |
|---------|---------------------------------------------|--------------|
| 国際事業 | ANCHOR BREWING COMPANY, LLC 2017年10月連結開始 | 約 7億円 |

<為替の影響（為替換算による影響）>

| | 2017 1Q | 2018 1Q |
|-------|---------|-----------------|
| US\$ | ¥113.60 | ¥ 108.23 |
| EUR | ¥121.05 | ¥ 133.15 |
| CAN\$ | ¥85.83 | ¥ 85.62 |
| SG\$ | ¥80.23 | ¥ 82.10 |



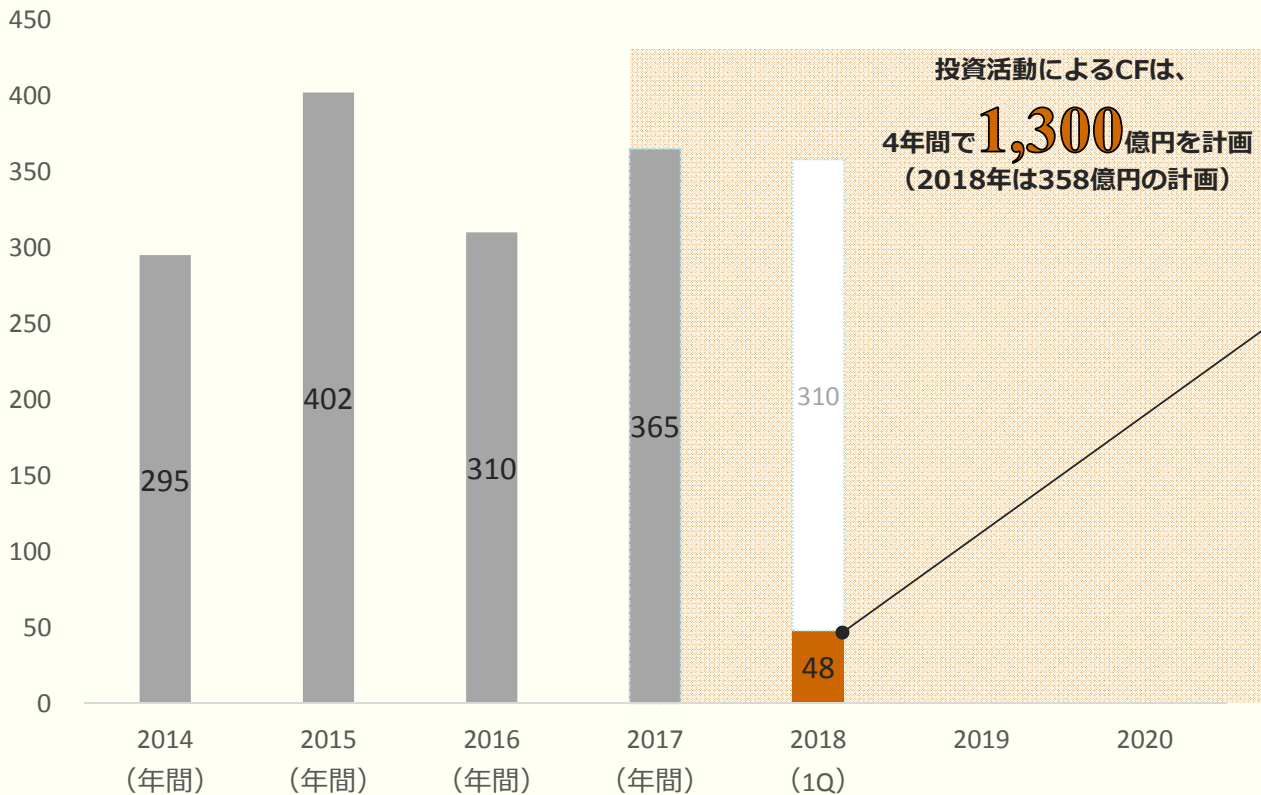
| | 売上収益影響 |
|---------|---------------|
| 国内酒類事業 | - |
| 国際事業 | 約 ▲5億円 |
| 食品・飲料事業 | - |

- : 影響軽微



➤ 支払ベースの投資額は48億円

＜投資金額 推移（支払ベース）＞



① <設備投資> 連結合計で約**27**億円
(有形固定資産・無形固定資産)

<主な内訳>

- ・『酒』『食』『飲』関連：約21億円
- ・SGM社 グループインフラ最適化等：約4億円
※SGM社:サッポログループマネジメント株式会社

② <投資不動産> 連結合計で約**8**億円

③ <リース料> 連結合計で約**8**億円
※飲食店舗の家賃にかかるリース料除く

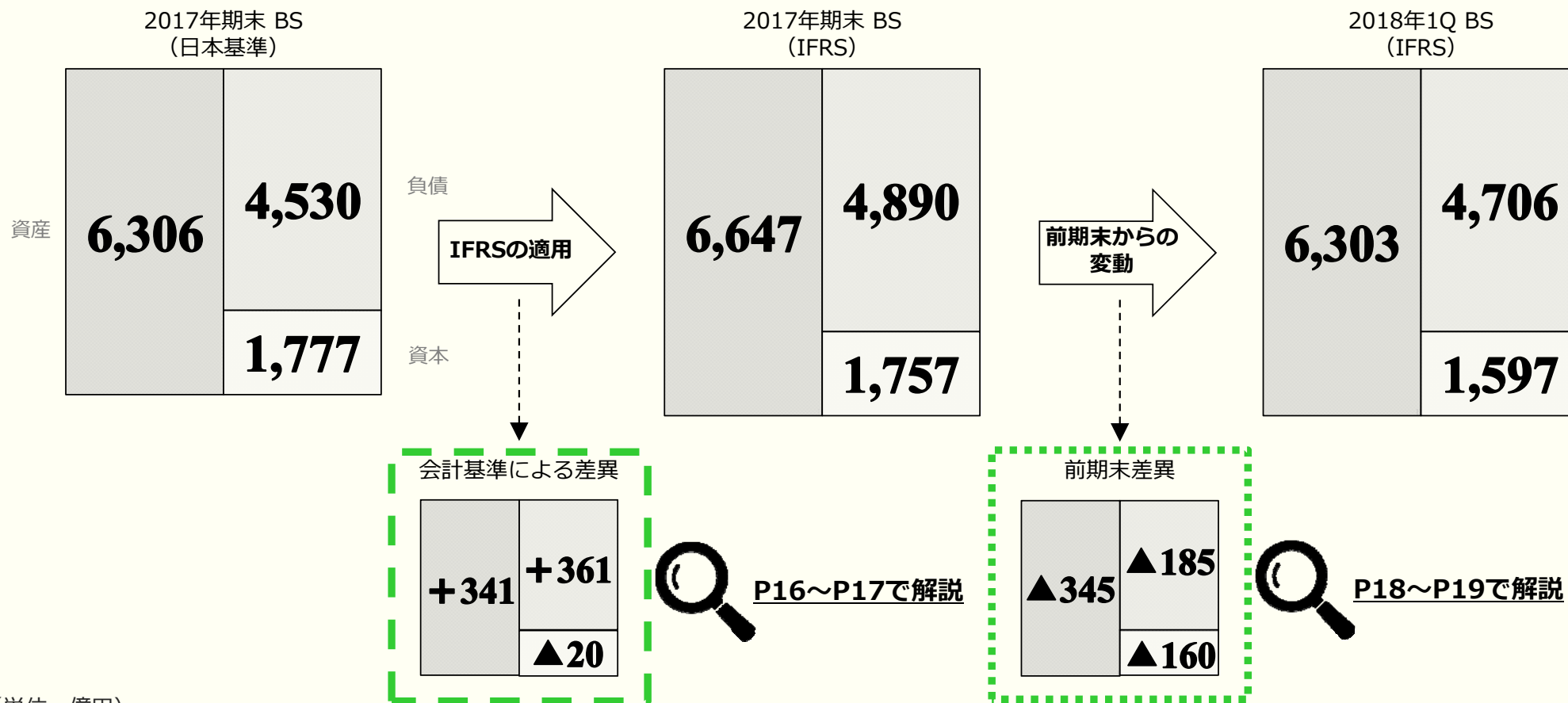
④ <その他投資> 連結合計で約**5**億円
(長期前払費用・投資有価証券 等)

① + ② + ③ + ④ <2018年1Q 投資実績 合計>
(支払ベース/経常設備投資・リース料含む)

約**48**億円



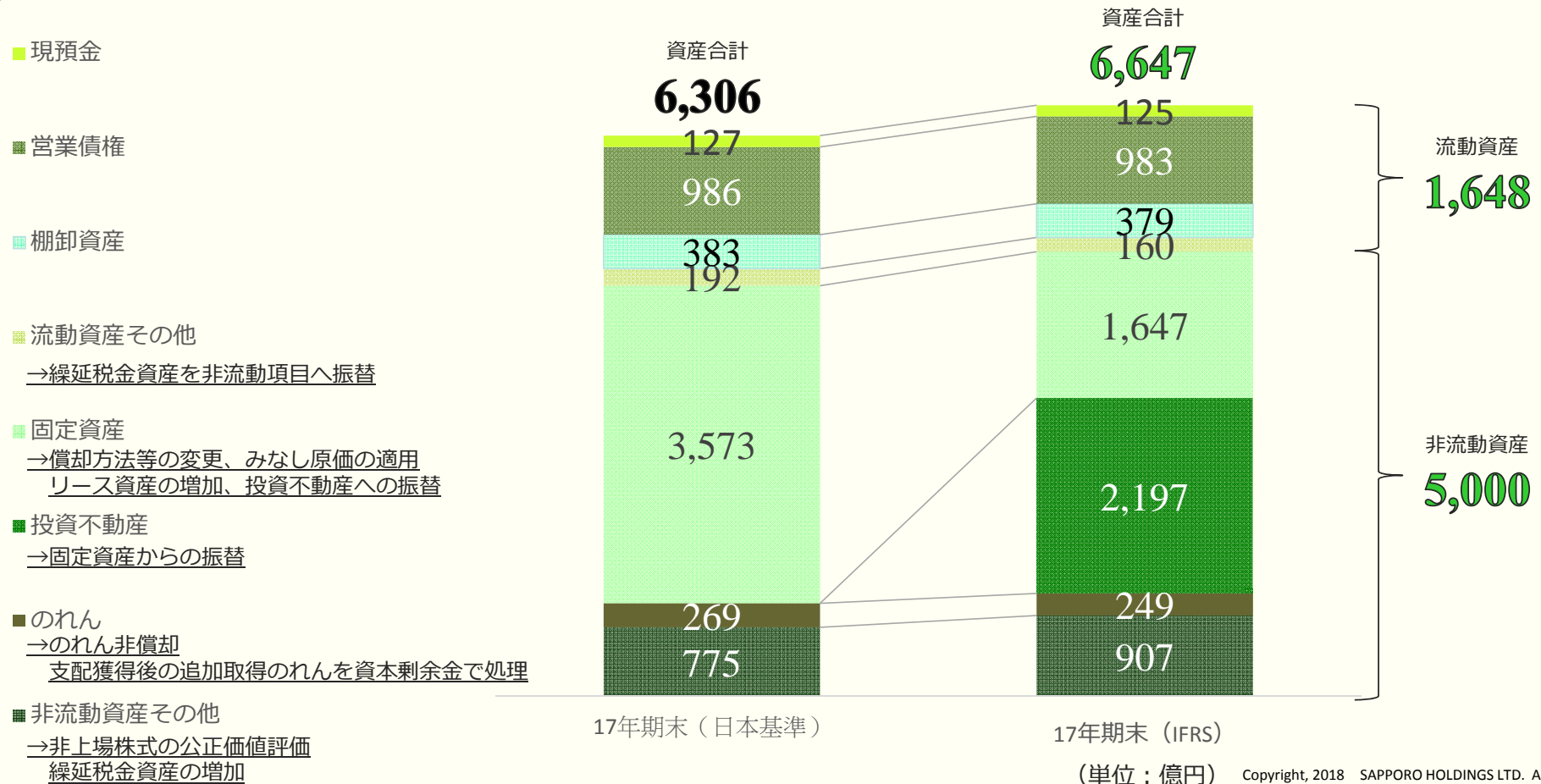
➤ IFRSへの移行により、前期末のBSが変動



(単位：億円)



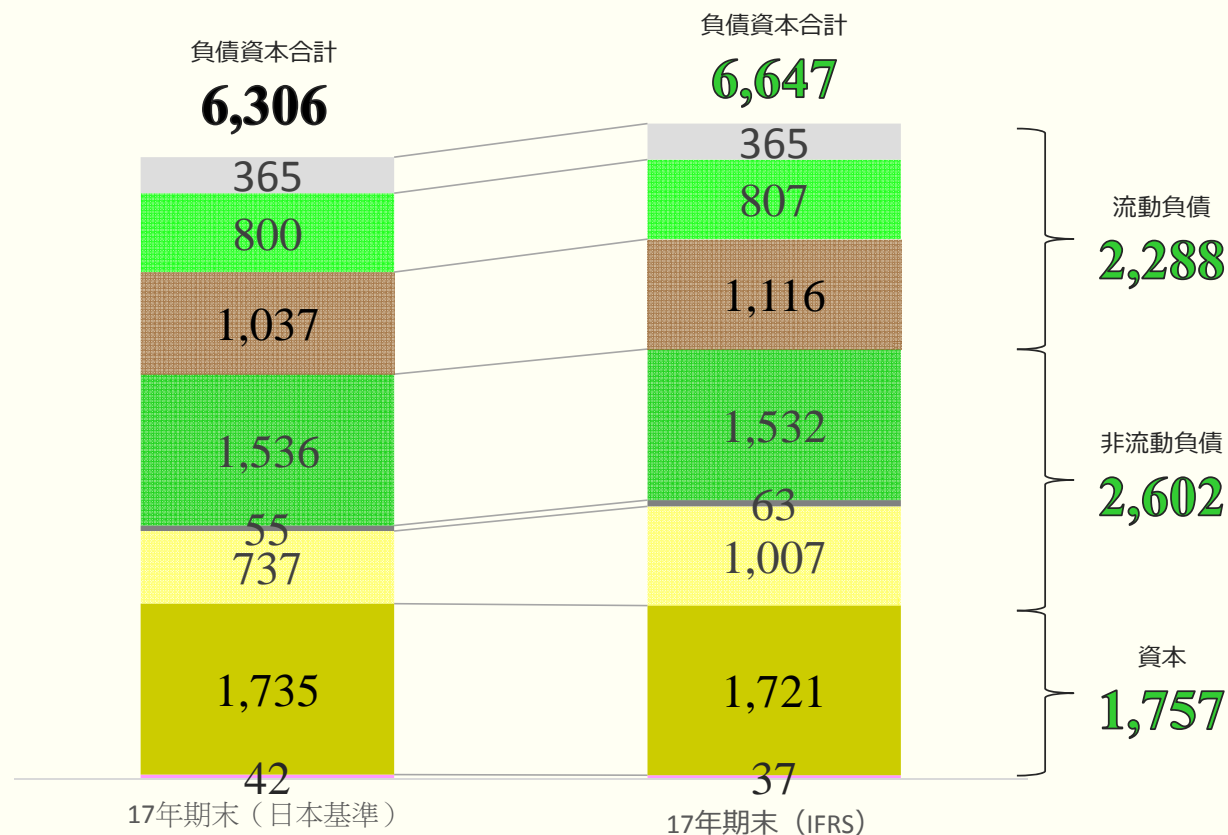
：資産合計はIFRSの適用により、341億円の増加





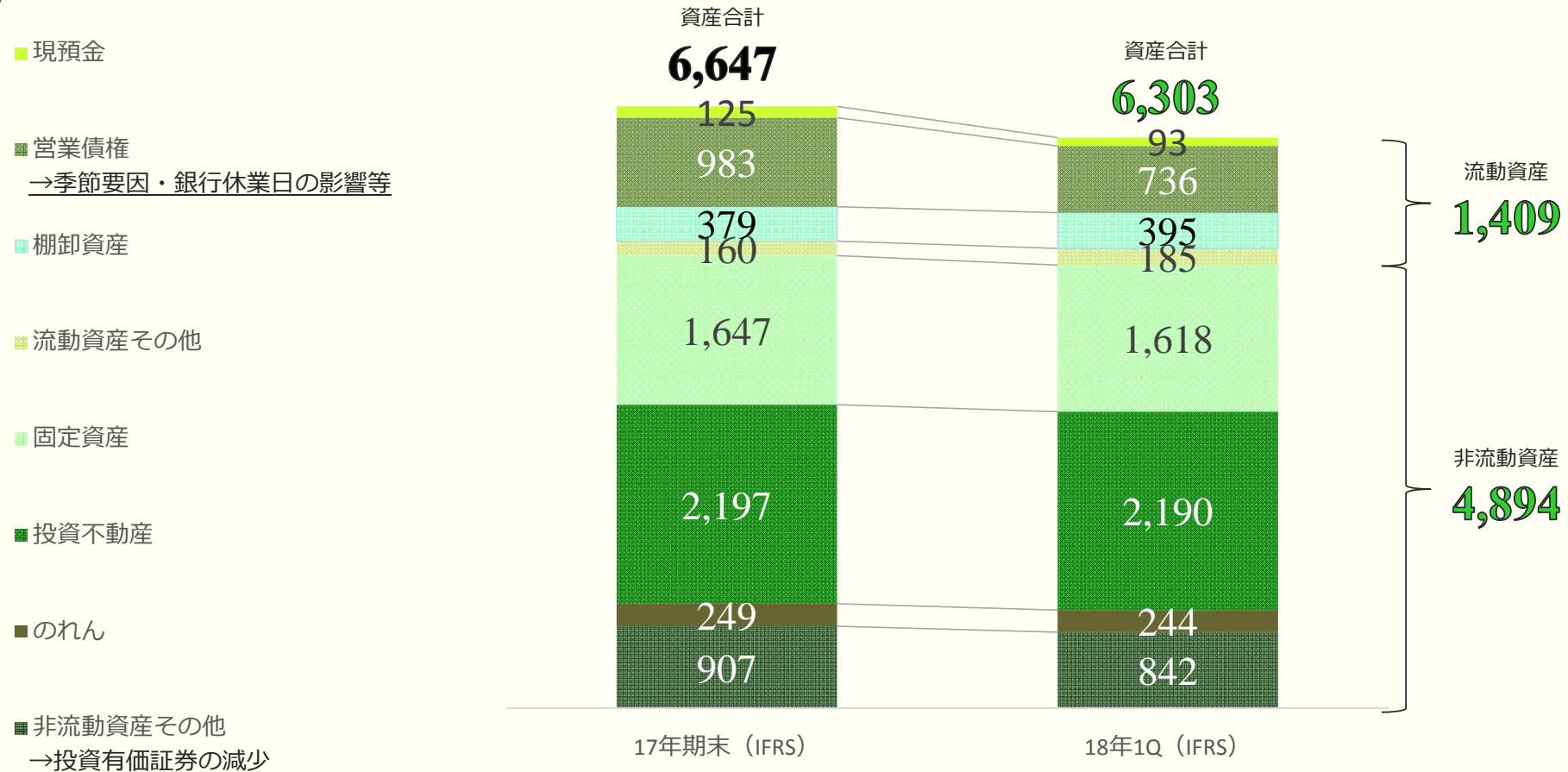
：負債合計はIFRSの適用により、361億円の増加、資本合計は20億円の減少

- 営業債務
- 短期金融負債
→ヘッジ取引の資産・負債グロス処理
- 流動負債その他
→リース負債、従業員休暇債務の増加
- 長期金融負債
→ヘッジ取引の資産・負債グロス処理
- 退職給付に係る負債
- 非流動負債その他
→リース負債、繰延税金負債の増加
- 親会社所有持分
→初度適用に伴う利益剰余金の減少
- 非支配持分





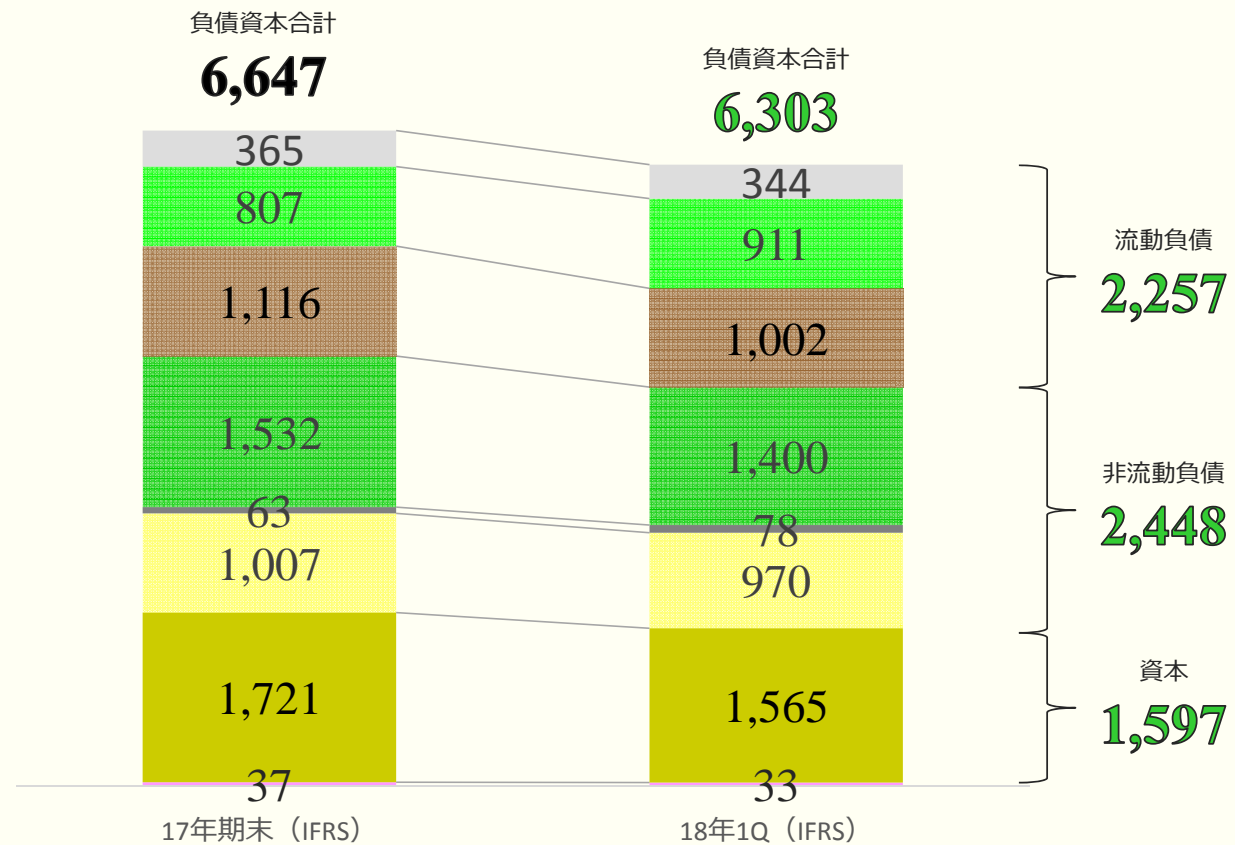
：資産合計は前期末対比で345億円の減少





負債合計は前期末対比で185億円の減少、資本合計は160億円の減少

- 営業債務
- 短期金融負債
- 流動負債その他
→未払酒税の減少
- 長期金融負債
→短期借入金への振替
- 退職給付に係る負債
- 非流動負債その他
- 親会社所有持分
→四半期純損失、配当金の支払他
- 非支配持分



グループ経営基盤の変革 Transformation of the Group management platform

ホップの研究

- (公社)日本農芸化学会から「2018 年度農芸化学技術賞」(注1)を受賞。
- 長年にわたるホップ品質の多角的な解析とその応用の取り組みが高く評価されたもので、「ホップの栽培安定化へのグローバルな貢献」「優良ホップ品種の継続的な育種開発」「ホップ特有の成分に関する多角的解析」に関する当社の実績が決め手となった。
- 同学会におけるビール醸造技術テーマでの同賞受賞は、2000年、2015年に続き3回目。
http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000021863/index.html

(注1) 1968年から設置された歴史ある賞。農芸化学分野において注目すべき技術的業績をあげた会員に授与される極めて権威ある賞。(公社)日本農芸化学会ホームページ：<http://www.jsbba.or.jp/>



レモンの研究

- 国産レモンの生産量を安定的に確保するため、ICTを活用したレモンの栽培試験を今春から広島県大崎上島町で本格的に開始。
- ICTを取り入れ、農業活動を数値化することにより、レモン栽培を効率化し、さらにレモン果実の高品質化を図る。
http://www.sapporoholdings.jp/news_release/0000020427/index.html



健幸経営 働き方改革

- 健康経営優良法人～ホワイト500～に2017年度に引き続き2年連続の認定。
回答企業数1,239社のうち、上位20%に入り5つ星の評価を獲得。



- 厚労省のテレワーク宣言企業に選定。
<https://www.sengen7.com/>

Appendix : 参考資料

参考資料

Appendix

| 国内酒類 (単位：万函/大瓶換算) | 17年1Q | 18年1Q | 前年同期比 |
|---------------------------|-------|-------|-------|
| ①ビール計 | - | - | 101% |
| サッポロ生ビール黒ラベル | - | - | 110% |
| アビス計 | - | - | 84% |
| ②発泡酒計 | - | - | 87% |
| ③新ジャンル計 | - | - | 93% |
| ビール・発泡酒・新ジャンル計 (①+②+③) | - | - | 98% |
| ビールテイストノンアルコール飲料 | 15 | 18 | 126% |

| 国内酒類 (単位：億円) | 17年1Q | 18年1Q | 前年同期比 |
|--------------------|-------|-------|-------|
| ワイン計 | 29 | 28 | 95% |
| 国産ワイン | 11 | 11 | 95% |
| 輸入ワイン | 17 | 16 | 95% |
| スピリッツ計 (RTD・洋酒・焼酎) | 68 | 74 | 108% |
| 小計 | 99 | 103 | 105% |
| リベート等控除 | ▲16 | ▲16 | - |
| 合計 | 83 | 87 | 105% |

| 海外ビール (単位：万函/大瓶換算) | 17年1Q | 18年1Q | 前年同期比 |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 海外ブランド (※1) | 268 | 289 | 108% |
| サッポロブランド | 146 | 149 | 102% |

(単位：万函)

| 飲料水 (ポッカサッポロフード&ビバレッジ) | 17年1Q | 18年1Q | 前年同期比 |
|------------------------|-------|-------|-------|
| 飲料水 (※2) | 962 | 874 | 91% |

(単位：億円)

| 売上金額 (酒税込み) | 17年1Q | 18年1Q | 増減 |
|-------------|-------|-------|-----|
| ビール | 311 | 309 | ▲2 |
| 発泡酒 | 27 | 24 | ▲3 |
| 新ジャンル | 100 | 93 | ▲8 |
| 小計 | 439 | 426 | ▲13 |
| リベート等控除 | ▲27 | ▲24 | 3 |
| 合計 | 412 | 402 | ▲10 |

| 売上金額 (酒税抜き) | 17年1Q | 18年1Q | 増減 |
|-------------|-------|-------|-----|
| ビール | 152 | 148 | ▲4 |
| 発泡酒 | 15 | 13 | ▲2 |
| 新ジャンル | 70 | 64 | ▲5 |
| 小計 | 237 | 226 | ▲12 |
| リベート等控除 | ▲27 | ▲24 | 3 |
| 合計 | 210 | 202 | ▲8 |

※1：スリーマン社、アンカー社を含む

※2：国内売上のみ。(豆乳除く)

参考資料

Appendix



【ビール】 (売上数量)

- ✓ 前年同期比**101%** (総需要98%)
- ✓ 「黒ラベル」：ブランド計 前年同期比**110%**
(缶：ブランド計 前年同期比**113%**)
- ✓ 「アビス」：ブランド計 前年同期比**84%**
※ 昨年3月発売の「アビス 華みやび」の裏返し影響あり。
アビスビール缶 (ブランド単体) では前年同期を超えて進捗。

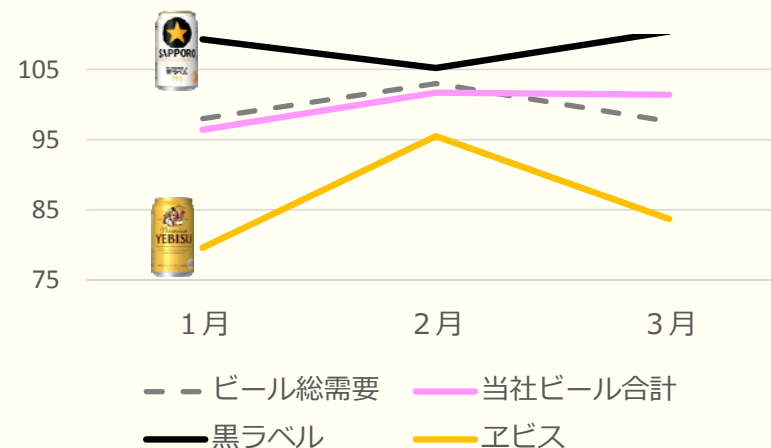
【発泡酒・新ジャンル】 (売上数量)

- ✓ 前年同期比**92%** (総需要100%)
- ✓ 「麦とホップ」：ブランド計 前年同期比**83%**
※ 「麦とホップ」は3/6リニューアル前の商品在庫削減影響あり。
- ✓ 「極ゼロ」：ブランド計 前年同期比**75%**

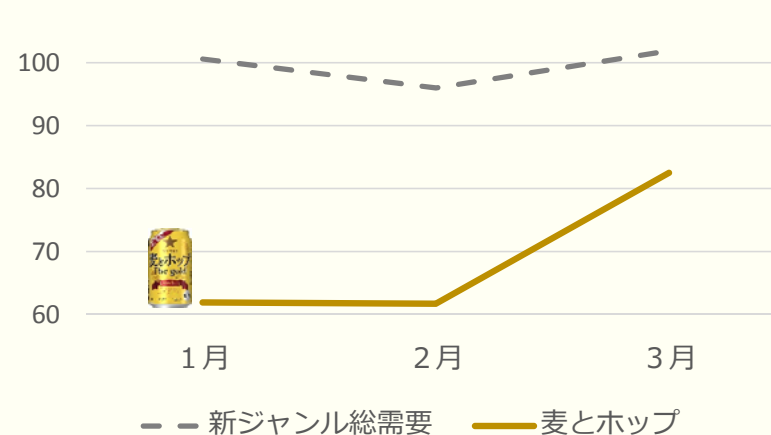
【ワイン・スピリッツ等】 (売上金額)

- ✓ ワイン事業：前年同期比**95%**
- ✓ RTD事業：前年同期比**126%**
- ✓ 洋酒事業：前年同期比**115%**
- ✓ 和酒事業：前年同期比**99%**

＜黒ラベル・アビス 売上数量 前年同期比 推移＞



＜麦とホップ 売上数量 前年同期比 推移＞



(1~3月累計)

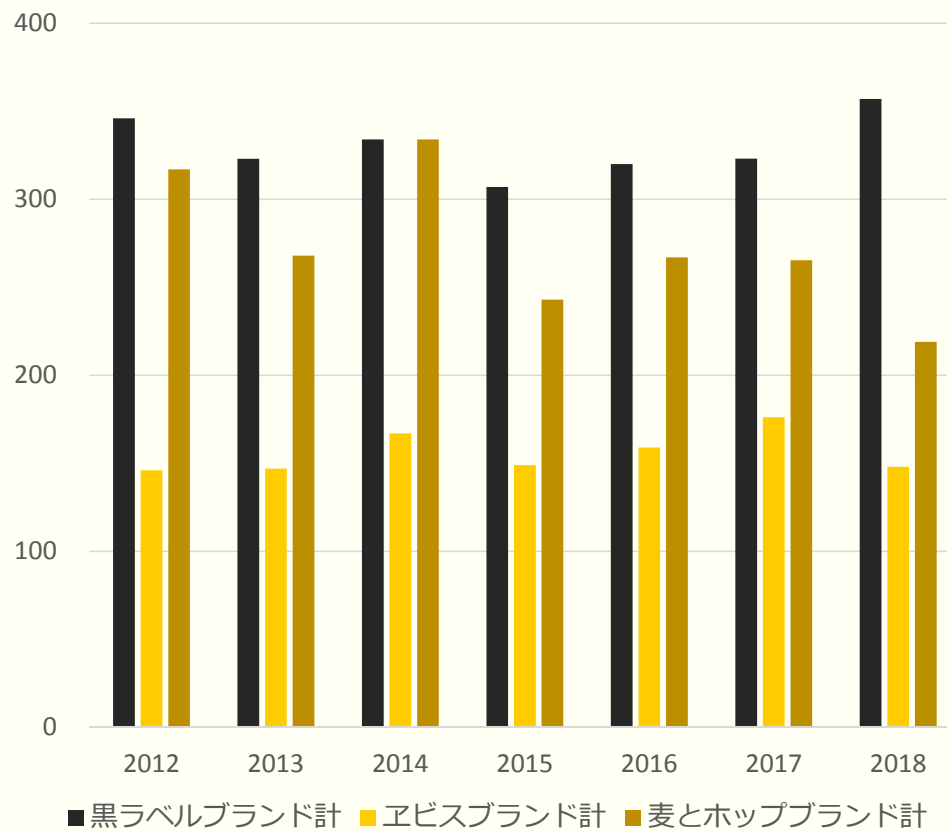
Copyright, 2018 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved.

参考資料

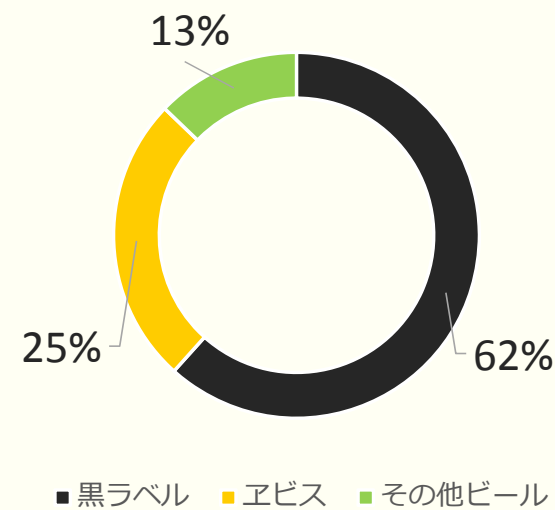
Appendix



<基幹3ブランド 売上数量（販売数量）推移>

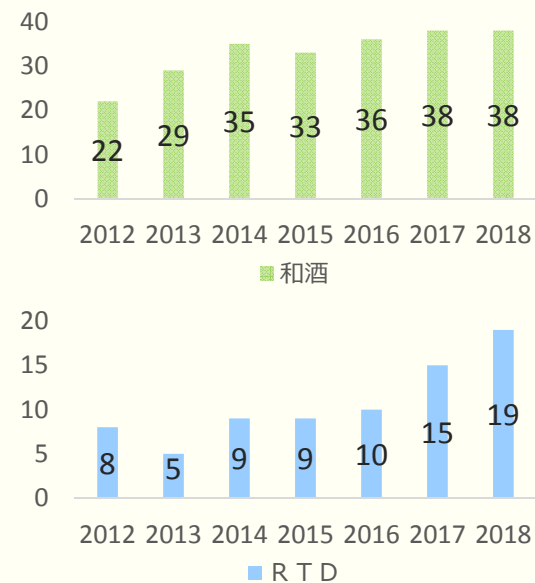
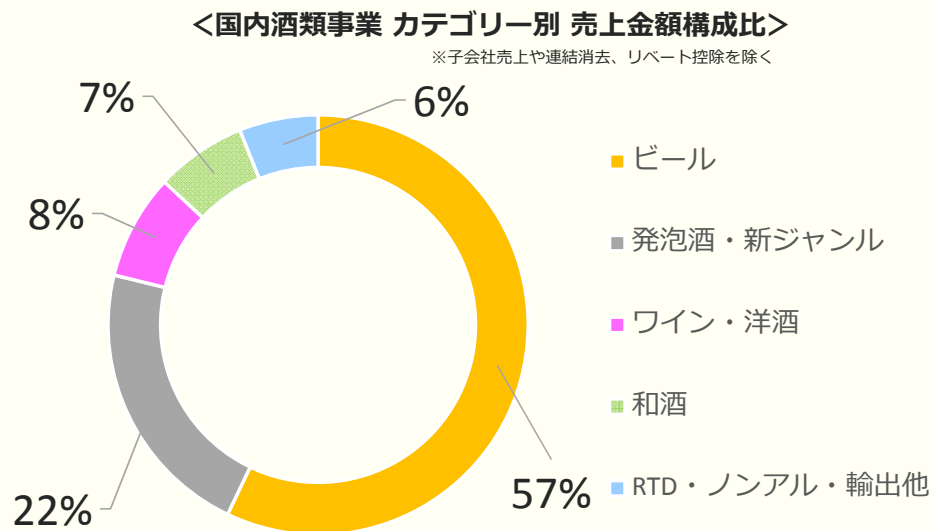
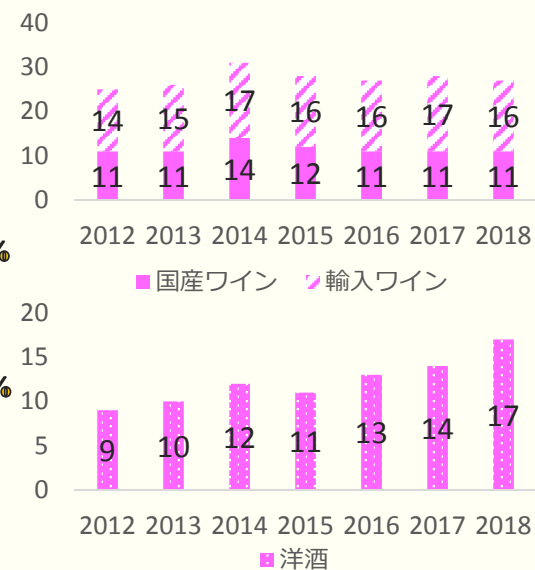
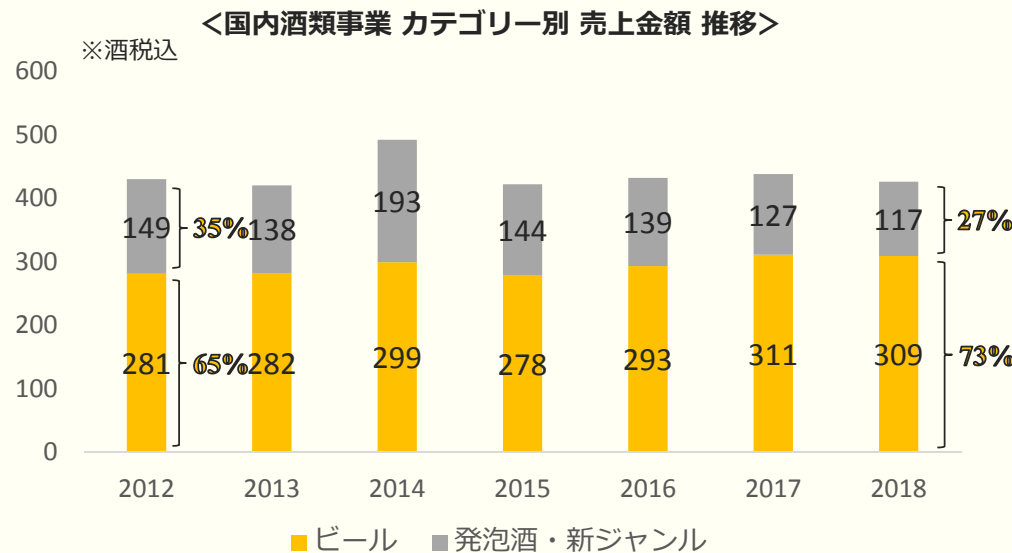


<ビールカテゴリーラインナップ 構成比>



参考資料

Appendix



※いずれもリベート等控除前の金額 (1~3月累計) (単位: 億円) Copyright, 2018 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved.

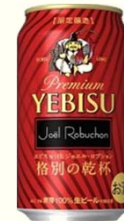
<2018年1月～3月 主な発売商品> ※R：リニューアル



エビス 華みやび
(※R)



エビスビール
桜デザイン缶



エビス with
ジョエル・ロブション



麦とホップ
(※R)



極ZERO
爽快ゼロ



ピーチベルグ



サッポロクラシック
春の薫り
(北海道限定)



サッポロ北海道生搾り
ファイターズ 開幕缶
(北海道限定)



サッポロ生ビール黒ラベル
熊本城復興応援缶
(西日本限定)



新潟限定ビール
風味爽快ニシテ
アルビレックス新潟缶



サッポロ生ビール黒ラベル
小田急口マンスカー・
GSE就役記念缶
(東京都・神奈川県限定)



愛のスコール
マンゴーサワー



ウメカク
ソーダ仕立ての梅酒カクテル
左：ピンクグレープフルーツ
右：もも (※R)



サッポロ
ナポリクラシックサワー
(北海道限定)



キレートレモンサワー
左：ヒアルロン酸プラス
中央：(※R)
右：ストロング

参考資料

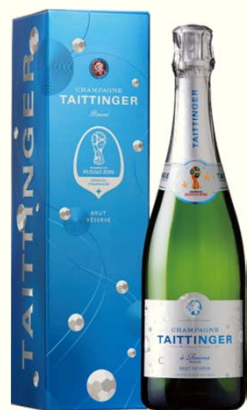
Appendix



参考資料 Appendix



<2018年1月～3月 主な発売商品> ※R：リニューアル



シャンパーニュ
テタンジェ ブリュット・レゼルヴ
「F I F Aボトル2018」



フランスワイン
「エマ・ミティーク」



「グランポレール
シングルヴィンヤード」
新ヴィンテージ



イタリア名門、テヌータ・カレッタのワイン



サッポロ
男梅の酒(※R)



梅のチカラシリーズ (※R)



甲乙混和芋焼酎
「こくもち」シリーズ (※R)



参考資料

Appendix



「ペンフォールズ ビン8 シラズ・カベルネ 2016」がダイヤモンドトロフィーを受賞！ “SAKURA” Japan Women’s Wine Awards 2018



- ✓ サッポロビール（株）が販売しているファインワイン「ペンフォールズ ビン8 シラズ・カベルネ 2016」が“SAKURA” Japan Women’s Wine Awards 2018において「ダイヤモンドトロフィー」を受賞。
- ✓ 最高品質のワインと認められた「ダブルゴールド」を受賞した商品の中でも、特に優れたワインに贈られるもの。
- ✓ 2018年は総エントリー数(4,342アイテム)の約1%、47アイテムのワインのみが選ばれた非常に価値のある賞。

http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000021860/index.html

「グランポレール「甲州辛口2016」「山梨甲州樽発酵2016」がそろって金賞を受賞 Asian Wine Review 2018



- ✓ 「Asian Wine Review 2018」において、グランポレール「甲州辛口2016」「山梨甲州樽発酵2016」がそろって金賞を受賞。
- ✓ 2商品は、いずれもTOP12にも選出されており、なかでも「甲州辛口2016」は白の最高賞を受賞。同時に4アイテムで銅賞を獲得。
- ✓ 日本ワインでの複数の金賞受賞は当社のみであり、グランポレールの特長の1つである、4つの産地（北海道、長野、山梨、岡山）からそれぞれ受賞したことは、グランポレールの高い品質と個性あふれるワインづくりが評価された結果と受け止めている。

http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000021836/index.html

「グランポレール北海道北斗ヴィンヤード」開園



- ✓ 良質な原料ぶどうの確保と、日本ワイン「グランポレール」のさらなるブランド力向上のため、2018年6月に「グランポレール北海道北斗ヴィンヤード（仮称、以下略）」を開園。
- ✓ 25.4haに及ぶ広大な土地を2018年中に整地し、2019年に第一期の苗の植え付けを開始、2021年に最初の収穫を迎える予定。
- ✓ 2022年にはファーストヴィンテージとして、収穫されたぶどうから醸造したワインを発売することを目指している。http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000021899/index.html

<グランポレール北海道北斗ヴィンヤード（仮称）概要>

| | |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 住所 | 北海道北斗市三ツ石（ホッカイドウホクトシミツイシ） |
| 面積 | 25.4ha |
| 今後の計画 | 2019年4月 第一期苗木植付け 2021年10月 第一期分収穫・初仕込み 2022年 ファーストヴィンテージの発売（予定） ※ぶどう成木後の予定収穫量はワイン10,000ケース相当 |
| 栽培品種 | メルロー、シャルドネ、ソーヴィニヨン・ブラン、シラーなど |

参考資料

Appendix



参考資料

Appendix



【海外ブランド】（スリーマン社、アンカー社を含む）

✓ 前年同期比**108%**

【サッポロブランド】

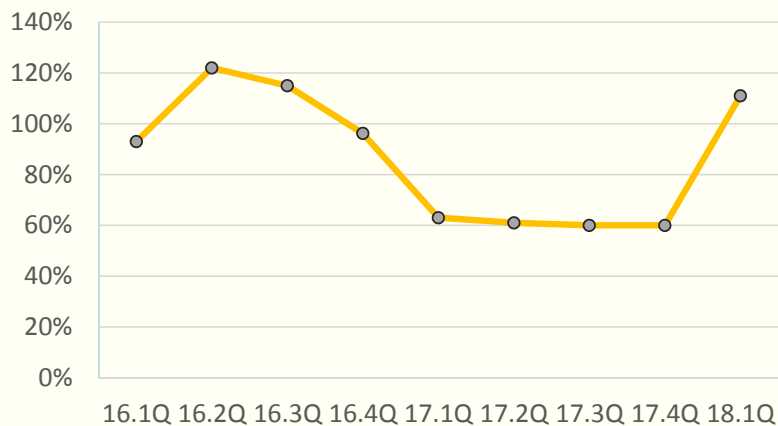
✓ 前年同期比**102%**



【ベトナム】（売上数量）

✓ 前年同期比**111%**

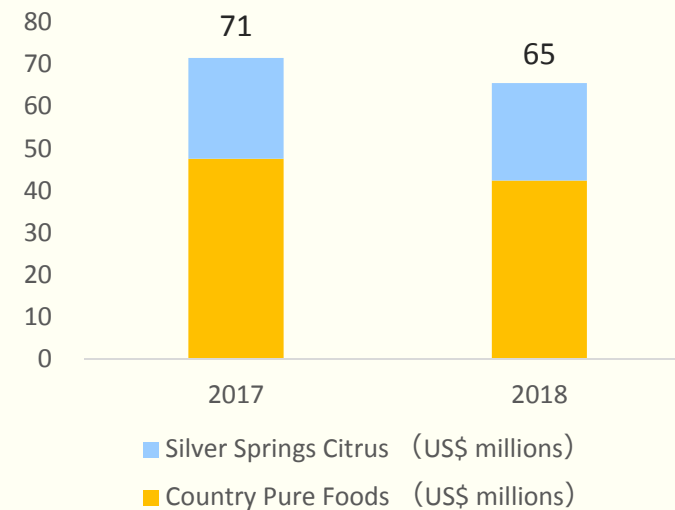
＜ベトナム国内 売上数量 前年同期比の推移＞



【米国飲料】（売上金額）

✓ 前年同期比**92%**

＜米国飲料 現地通貨建て売上金額（連結消去前）＞

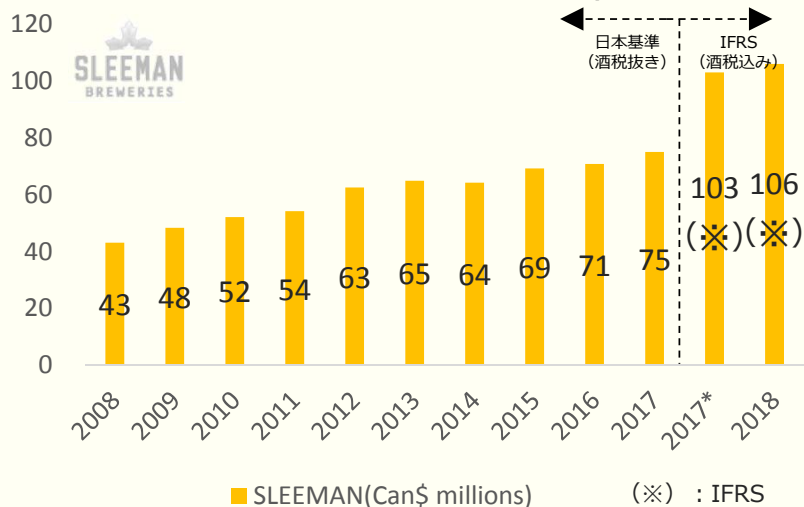


参考資料

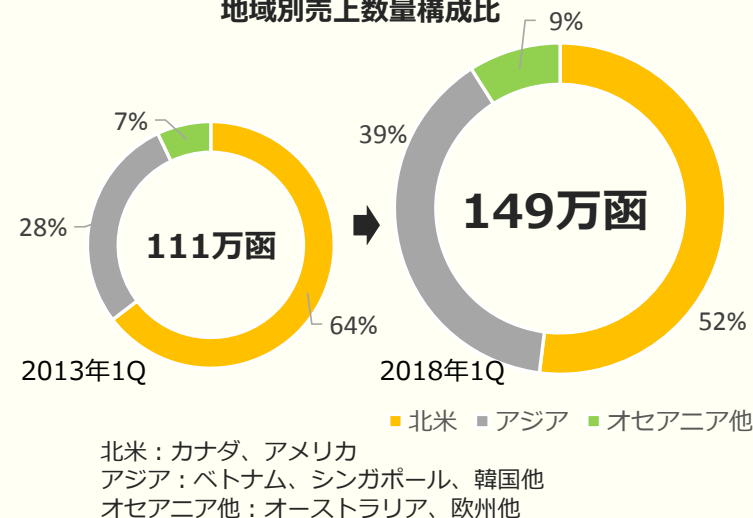
Appendix



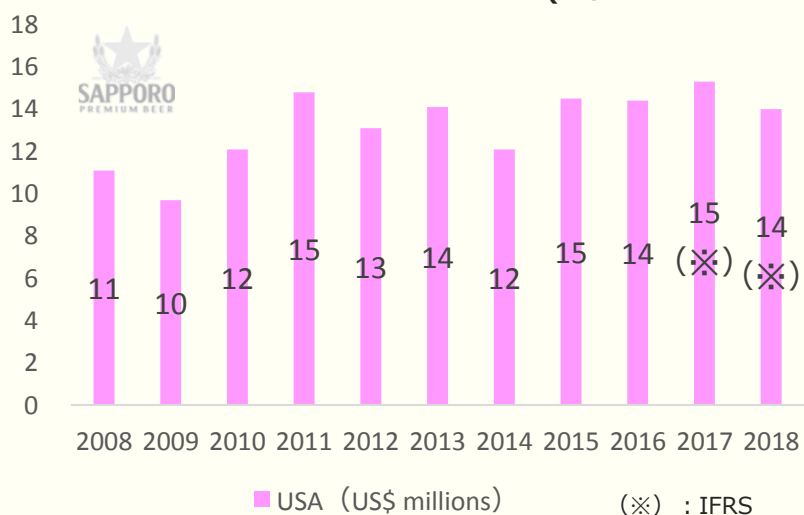
＜スリーマン社：現地通貨建て売上金額（連結消去前）の推移＞



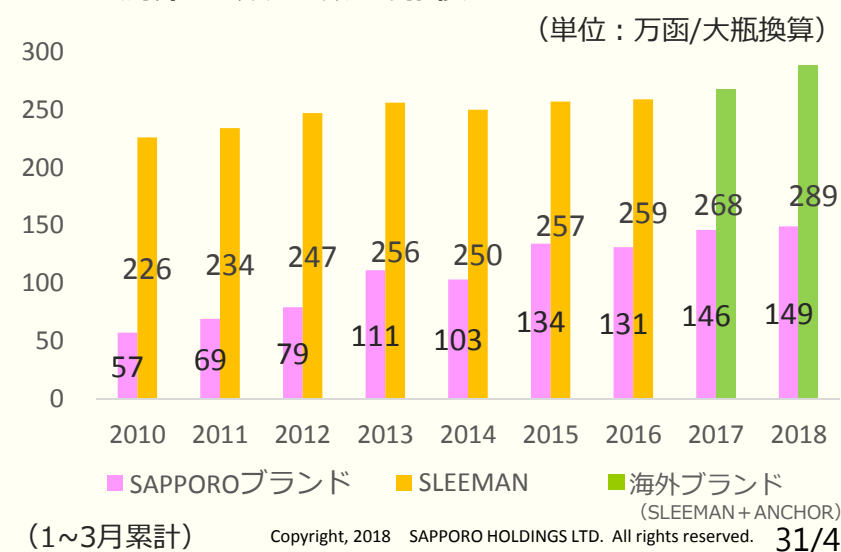
「SAPPORO」ブランド
地域別売上数量構成比



＜サッポロUSA社：現地通貨建て売上金額（連結消去前）の推移＞



＜海外ビール売上数量の推移＞



参考資料

Appendix



【レモン飲料】 (売上数量)

✓ 前年同期比**98%**



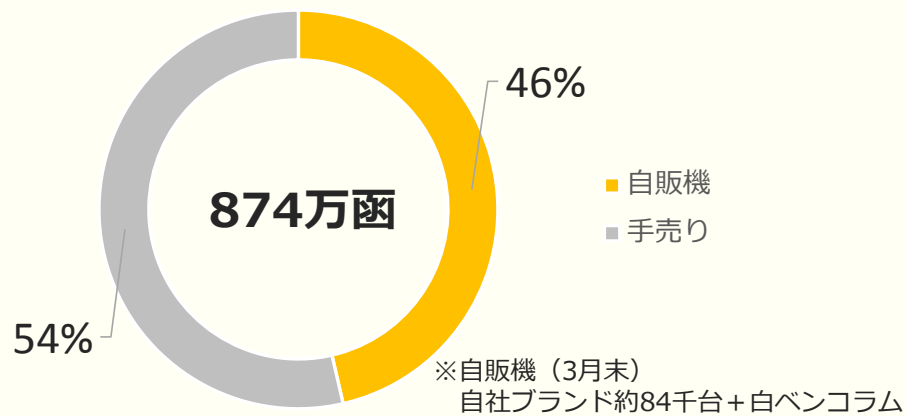
【茶系飲料】 (売上数量)

✓ 前年同期比**105%**

【コーヒー飲料】 (売上数量)

✓ 前年同期比**79%**

<国内食品飲料事業：ポッカサッポロフード&ビバレッジ>
国内飲料チャンネル別販売数量 構成比



【レモン食品】 (売上数量)

✓ 前年同期比**115%**

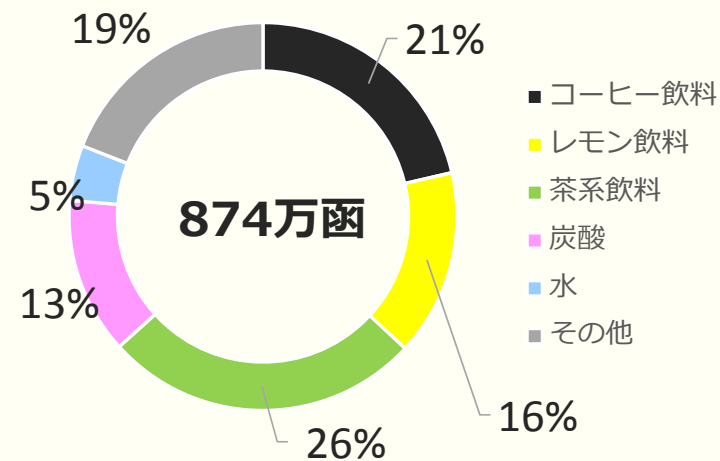
【スープ】 (売上数量)

✓ 前年同期比**90%**

【大豆チルド】 (売上数量)

✓ 前年同期比**110%**

<国内食品飲料事業：ポッカサッポロフード&ビバレッジ>
国内飲料ジャンル別販売数量 構成比



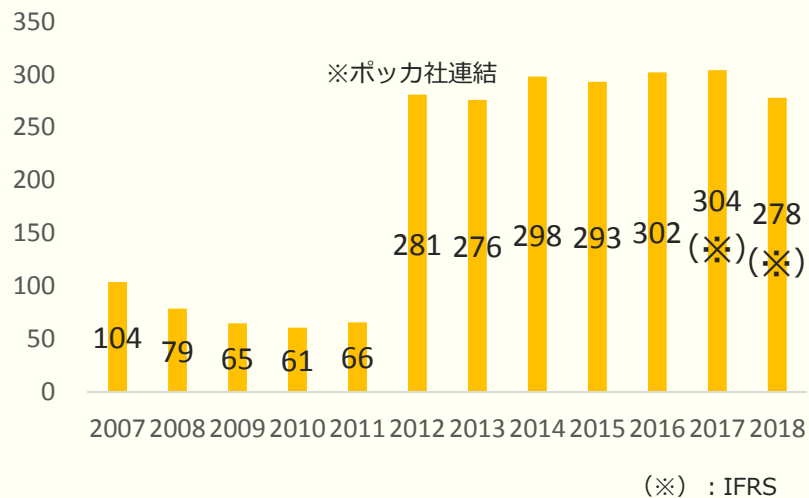
(1~3月累計)

参考資料

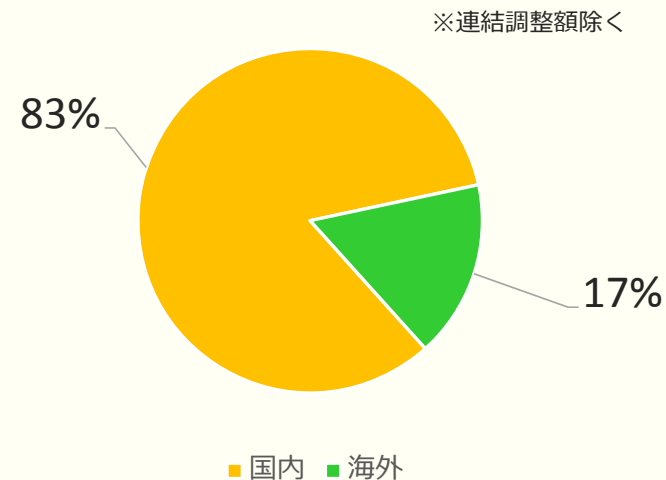
Appendix



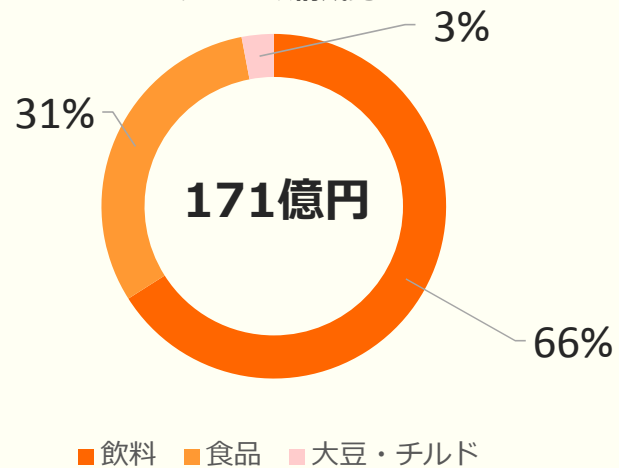
<食品・飲料事業売上収益の推移（億円）>



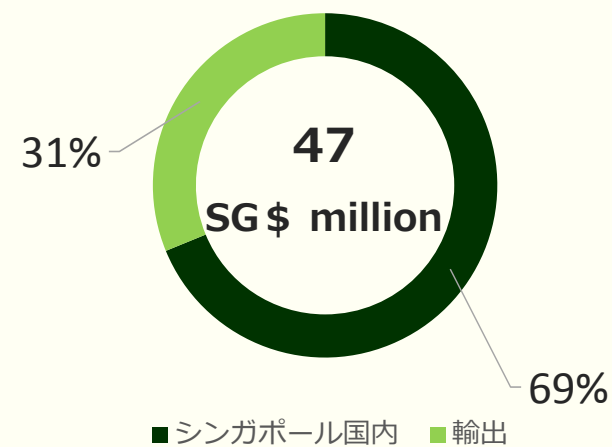
<食品・飲料事業売上金額の構成比>



<国内：ポッカサッポロフード&ビバレッジ>
売上金額構成比



<海外：ポッカコーポレーション・シンガポール>
売上金額構成比（POKKAブランド）



(1~3月累計)

参考資料

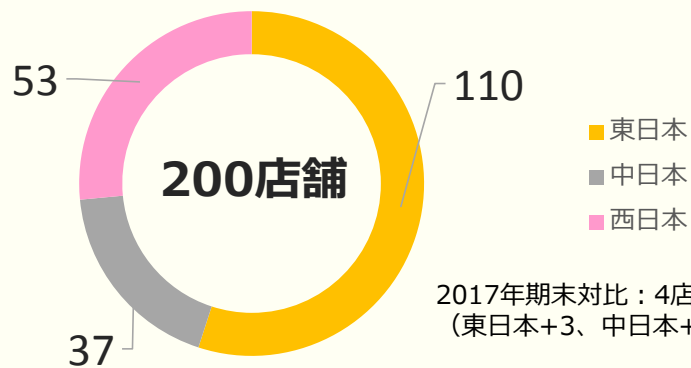
Appendix



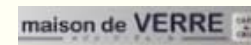
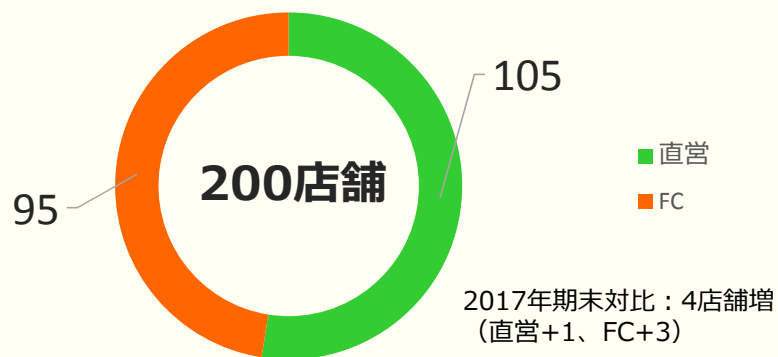
【(株) ポッカクリエイト】

✓ 売上金額**20**億円 前期比**98**%

<3月末 地域別店舗数>



<3月末 直営/FC店舗数>



<新店舗&リニューアル店舗>



2018.01.31
CAFÉ de CRIÉ
ホピタル市立東大阪
医療センター
グランドオープン



2018.02.08
CAFÉ de CRIÉ
横浜北幸タカシマヤ
ローズホール
グランドオープン



2018.02.23
CAFÉ de CRIÉ
アリオ葛西
グランドオープン



2018.03.21
メゾン・ド・ヴェール
新静岡セノバ
グランドオープン

<2018年 主な発売商品（飲料）> ※R：リニューアル



左：JELEETSコーヒーゼリー
右：JELEETS宇治抹茶ゼリー



紀州の梅スパークリング



津軽のりんご



日田の梨（再発売）



参考資料

Appendix



がぶ飲みシリーズ（※R）



熊本おいしい玄米茶



玉露入りお茶
熊本城復旧応援ラベル（※R）



北海道ハスカップ
スパークリング



北海道余市産
白ぶどう&天然水
（再発売）



アーモンド・ブリーズシリーズ



凍らせてできる
リモーネ・グラニータ
（業務用）



レモン果汁を発酵させて作ったレモンの酢
（右：ダイエットストレート）



<2018年 主な発売商品 (食品)> ※R: リニューアル



じっくりコトコト こんがりパン PREMIUM
左: オマール海老の濃厚ポタージュ
右: トリュフ香る帆立のポタージュ



リゾランテ
左: 濃厚海老クリームリゾット カップ
右: 濃厚チーズリゾット (※R)



辛王 激辛とんこつスープ

冷製スープ



素材屋すうぶ
左: 海苔スープ (※R)
右: たけのこスープ



じっくりコトコト こんがりパン
明太子チーズポタージュ



じっくりコトコト ご褒美ダイニング冷製シリーズ



ソイビオ豆乳ヨーグルト
左: プレーン加糖
右: ストロベリー



左: 一杯の減塩 洋風ポタージュアソート
右: 一杯の減塩 和風スープアソート



じっくりコトコト
ポタージュ 缶シリーズ

冷製 選べる!
みんなのスープ

参考資料

Appendix



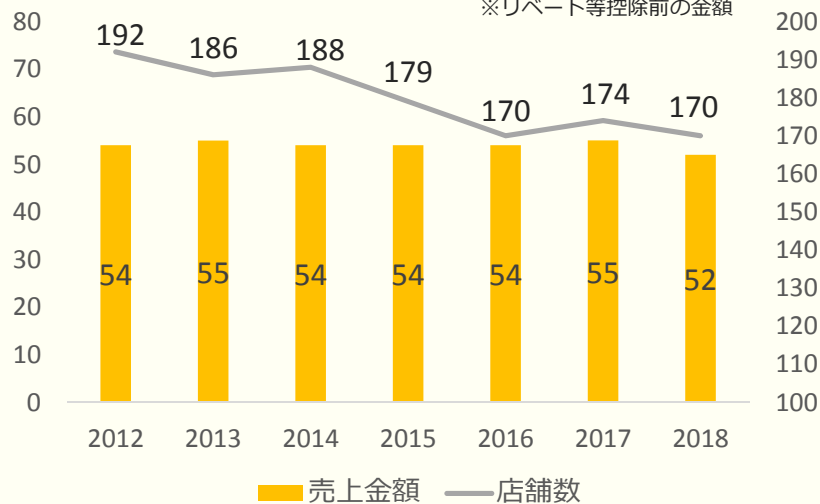
参考資料

Appendix

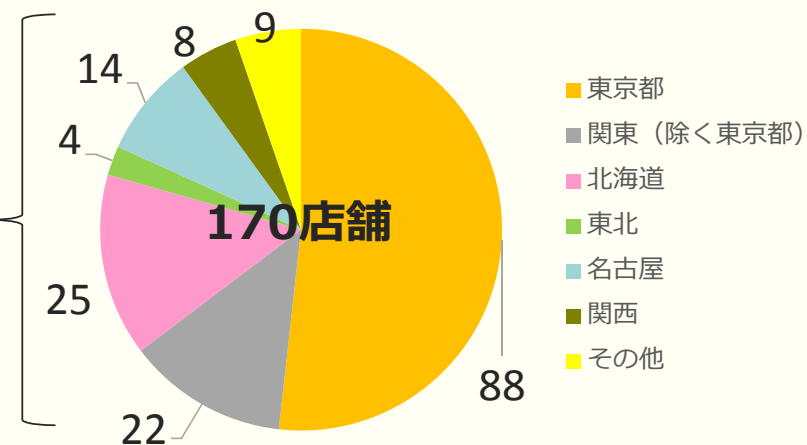


<サッポロライオン単体の店舗数と売上金額の推移>

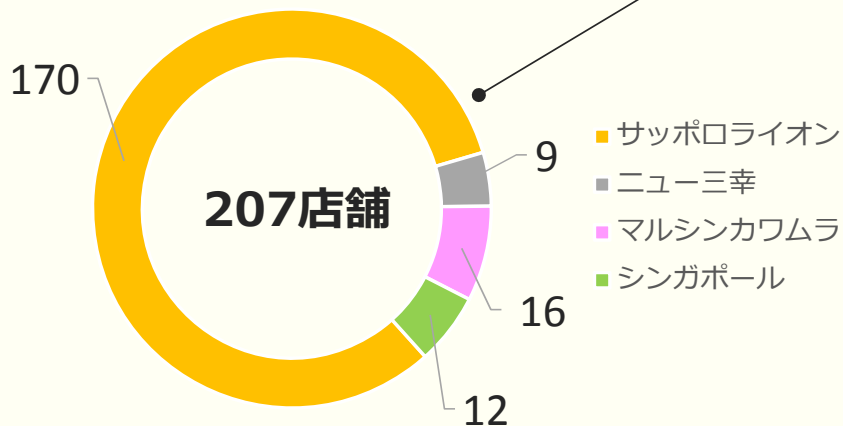
※リポート等控除前の金額



<サッポロライオン単体 店舗数地域別構成比>



<外食事業 店舗数構成比>



<主なブランド一覧>



参考資料

Appendix



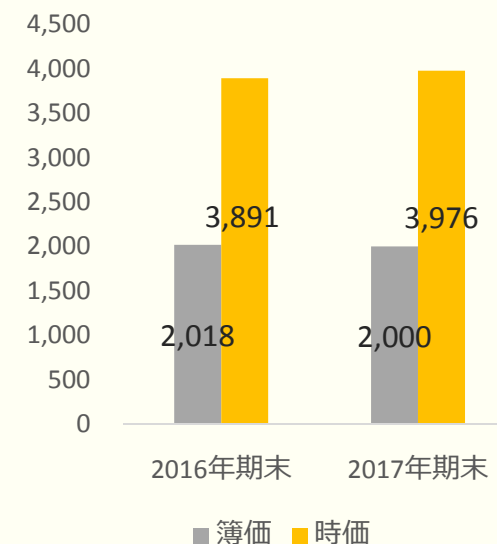
<主要物件概要・稼働率 : (1~3月平均・入居ベース) >

| | 敷地面積 (㎡) | 延床面積 (㎡) | 平均 稼働率 (%) | 階数 |
|----------------------------|-------------|-------------|------------------|-------------|
| 恵比寿ガーデンプレイス ⁽¹⁾ | 56,943 | 298,007 | 100 | 地下5階 地上40階建 |
| 恵比寿ファーストスクエア | 2,596 | 16,012 | 100 | 地下1階 地上12階建 |
| 恵比寿スクエア | 1,561 | 8,644 | 100 | 地下1階 地上7階建 |
| 銀座プレイス | 645 | 7,350 | 100 | 地下2階 地上11階建 |
| ストラータ銀座 ⁽²⁾ | 1,117 | 11,411 | 100 | 地下1階 地上13階建 |

(1) : 「階数」はオフィス棟部分のみ、「稼働率」はオフィス区画にて記載、小数点第一位を四捨五入

(2) : 100%持分にて記載。当社持分は、土地922㎡(区分所有)、建物89.72%(共有持分)

<賃貸等不動産期末時価情報>



<営業利益の内訳> (※)

| | 17年1Q | 18年1Q IFRS | 増減 |
|---------------|-------|---------------|----|
| 恵比寿ガーデンプレイス関連 | - | 9 | - |
| 北海道事業 | - | 1 | - |
| その他物件・事業 | - | 3 | - |
| 全社共通費用 | - | ▲2 | - |
| 合計 | - | 11 | - |

<EBITDAの内訳> (※)

| | 17年1Q | 18年1Q IFRS | 増減 |
|---------------|-------|---------------|----|
| 恵比寿ガーデンプレイス関連 | - | 17 | - |
| 北海道事業 | - | 1 | - |
| その他物件・事業 | - | 7 | - |
| 全社共通費用 | - | ▲2 | - |
| 合計 | - | 24 | - |

※前年実績は日本基準のため、掲載省略

(単位：億円) Copyright, 2018 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved. 38/40

サッポログループの様々な取り組み

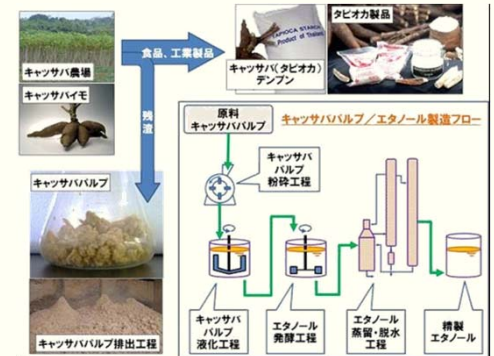
<受賞関連 (環境保全の取り組み)>

- ✓ 第27回地球環境大賞「農林水産大臣賞」を受賞
～醸造技術を応用したバイオマスエネルギーの技術開発を進めてきた功績～
http://www.sapporoholdings.jp/news_release/0000020423/index.html (写真①)

<支援/寄付等 (一部抜粋)>

- ✓ 札幌麦酒祭りのビール売上金相当額を寄付
アイヌ文化の振興支援を通じ、ふるさと北海道を応援 (写真②)
http://www.sapporoholdings.jp/news_release/0000020417/index.html
- ✓ 箱根駅伝のチャリティ売上金を箱根町に寄付
サッポロビールは箱根町を応援 (写真③)
http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000021831/index.html
- ✓ 2017年度株主優待制度を通じた東北復興支援活動
新たに海外の高校生から福島の食の安全性を発信するプロジェクトを支援
http://www.sapporoholdings.jp/news_release/0000020425/index.html
- ✓ 熊本地震から2年 熊本県「益城町次世代育成事業」への支援
今年最初の取り組みとして「大人も子供も、お笑いライブin 益城」を開催
http://www.sapporoholdings.jp/news_release/0000020431/index.html

写真①



写真②



写真③





SAPPORO

潤いを創造し 豊かさに貢献する

